

2013年2月14日

朝鮮民主主義人民共和国
国防第一委員長
金 正 恩 様

国際婦人年連絡会
世話人 橋本 葉子
實生 律子
山口みつ子

三たびの「北朝鮮」の核実験に対する抗議および平和的解決への要望

朝鮮中央通信の報道によれば「北朝鮮（朝鮮民主主義共和国）は地下核実験を成功裡に行った。」と報じています。

私たち国際婦人年連絡会は、北朝鮮が、2006年10月9日、2009年5月25日に続く3度目の核実験を行なったことに対して、強く抗議いたします。

私たちは、「人類と核は共存できない」ことを確信し、あらゆる核実験の中止と核兵器の廃絶を求めて活動しております。今回の核実験は、バラク・オバマ米国大統領のプラハ演説「核のない世界」の実現への呼びかけ、2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議、国連安全保障理事会の決議など、核兵器廃絶をめざす国際社会の自制要請を無視した行動です。

以後の核実験は行わないことを国連および国際社会に示すことを求めます。

「武力で平和はつくれない」ことを、私たちは歴史から学んでいます。貴国北朝鮮がミサイル発射、核実験など、武力強化の道を歩む姿に心痛めております。

北朝鮮が3度目の核実験を実施したことに対して、国連安全保障理事会は、12日に緊急会議を開き、過去の安保理決議に違反する行為として、さらに厳しい追加制裁を盛り込んだ新しい決議案などが提案されると報道されています（13日東京新聞朝刊）。

しかし、私たちは厳しい制裁措置よりも、対話と友好の立場で、平和を構築していくことを切望しております。

核を保有することは戦いの抑止力にはなり得ません。核を保有するのではなく、対話を通し、平和と友好の立場から、諸外国との連携に努めること、特にすべての核保有国が、世界の安全保障と平和に向けて、「核なき世界」実現のためにあらゆる努力を続けることを求めます。